

「卵白プロテイン」製販に注力

イフジ産業

水溶性・吸収性など独自の特長

筋肉細胞ミトコンドリアの活性促す

イフジ産業(福岡県糟屋郡・藤井宗徳社長)は、液卵に関する独自の知見・加工技術で開発した「卵白プロテイン」を付加価値性の高いタンパク素材として販売に注力する。水への溶けやすさや、ホエイや大豆と異なる吸収性が特長であり、九州大との共同研究から筋肉細胞の速筋化やミトコンドリア活性化などの機能性も確認した。自社ブランド「REV VOPRO」製品のD・Cを通じてスポーツ・フィットネス市場に販路を広げるほか、原料外販も今後対応していく方針だ。

液卵専門の大手メーカーである同社は、国内4工場を擁し年間6万2000トンの規模で液卵や凍結卵などを供給している。2009年に日本化学工業品をグループ化し、同社が粉末調味料で培った加工技術などを活用した製品開発を検討。イフジ産業が持つ、液卵に関する長年の知見と日本化学工業品の技術・ノウハウのシナジーで、水に溶ける粉末卵白として卵白プロテインを開発した。

通常、粉末乾燥卵白は水に不溶だが、同社は独自の加工技術によって水

に安定分散させることを可能とした。賦形剤を用いない製法で粉末化しており、タンパク質含量は80〜90%。また、通常の卵白は水に溶けると特有の臭いが生じるが、本品は臭いを低減し、ホエイプロテイン同様にシェイクカーでの飲用にも適している。

同社は付加価値型プロテインとして2020年に「REV VOPRO」ブランドを立ち上げ、ボトル入りの製品などのD・C販売を開始。フィジクなどのフィットネス市場でユーザーを増やしている。乳由来品と差別化で

きるポイントとしては、まず同品が乳糖を含んでいないため、わが国では4人にひとりといわれる乳

糖不耐症の人でも安心して飲用できること。また、体内吸収性が大豆タンパクより速く、ホエイより遅いため、腎臓への負担が軽いため期待できる。

さらに同品の健康機能性については、九州大学と複数の共同研究を実施。骨格筋細胞を用いた試験では、筋肉の分化に

関連する遺伝子の発現量がホエイに比べ多く、筋肉細胞の活性化に寄与し、特に速筋化を誘導することが明らかとなった。また、骨格筋細胞を用いた別の研究では、ホエイに比べ、酸化還元力の発現量が増えてミトコンドリアが活性化し、脂肪酸の分解、エネルギー産生を促進するなどの確認。健康なダイエットへの有効性が示された。

同社は今後、D・Cのほか卵白プロテインの原料外販も検討。液卵大手としての技術・ノウハウを活用し、ベネチアや菓子類などにも提案したい考えだ。